地域への感謝を込めて！

江差信用金庫　木製ベンチ贈呈

6月18日、江差信用金庫（藤谷直久理事長）より、道南杉の木製ベンチが町に寄贈され、ふれあい交流センターくまいし館にて、江差信用金庫熊石支店加賀修支店長から植杉副町長に目録が手渡されました。

昨年2月に創立90周年を迎えた同金庫では、地域貢献事業の一環として、営業所所在地の公共施設等に道南杉の木製ベンチを寄贈しています。

木製ベンチは昨年度の熊石総合支所への設置に続き、ふれあい交流センターくまいし館に設置され、来場者に活用されています。

スピードダウン！　許さねど暴走！

八雲町交通安全協会熊石支部 交通安全看板草刈り

長年に渡り、「クマ看板」として多くの町民や釣り客などに親しまれた八雲町交通安全協会熊石支部の交通安全看板が改修され、6月23日に披露されました。

同支部では、国道沿いの5か所に交通安全看板を設置し、交通安全活動の一環として、道行くドライバーに交通安全を訴えています。

夏の交通安全運動期間を間近に控えた7月9日に、同支部有志が刈り払い機を持ち寄って「クマ看板」を含む交通安全看板周辺の草刈りを行いました。

地元の旬を味わって！

地産地消のサクラマス給食

7月1日、熊石地域マリンビジョンの地産地消プロジェクトの一環として、熊石地域の小中学校6校の学校給食に、サクラマスのホイル焼きが登場し、児童生徒が地元の味を楽しみました。

「地元の旬を地元の子どもたちに味わってほしい」と協宝丸水産（工藤幸博代表）よりサクラマスが無償提供されました。

雲石小では、相原栄養士が「漁師の方々に感謝し、旬の魚の味を楽しんで下さい」と呼びかけると、児童たちはいっせいに箸を伸ばし、「美味しい」「もっと食べたい」と舌鼓を打っていました。

犯罪のない安全で安心な地域を目指して！

八雲警察署　実践型防犯教室

7月2日、八雲警察署主催の実践型防犯教室がふれあい交流センターくまいし館で開かれ、町民約50人が参加し、実際の犯罪手口を学びながら施錠の徹底などの日頃の備えの必要性を学びました。

防犯設備士の高橋佳嗣氏を講師に招き、ガラス破りやピッキングなどの特殊工具で、簡単に施錠が破られる様子を目の当たりにすると、参加者から一様に驚きの声が上がっていました。